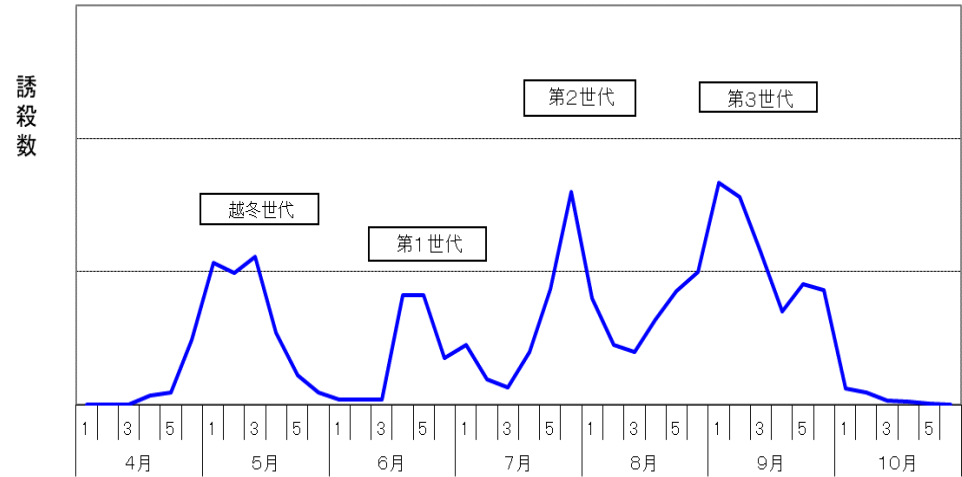


スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

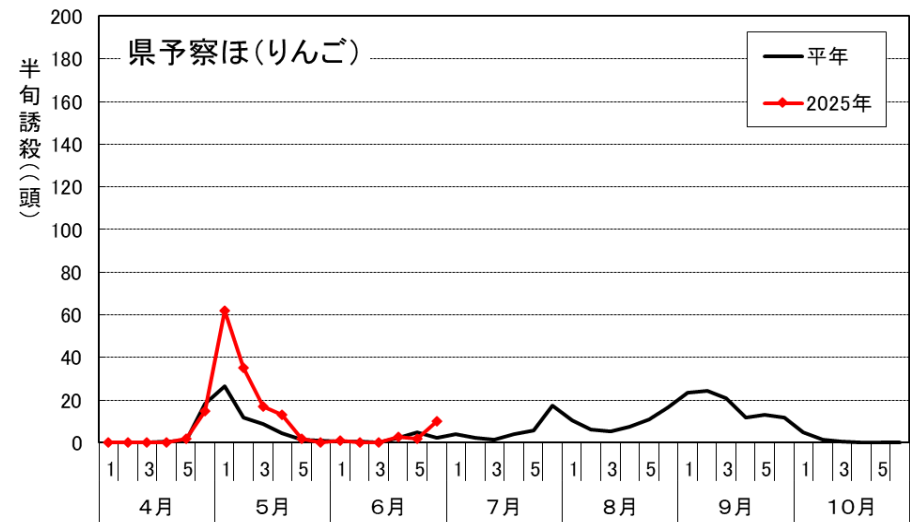
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年3～4回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬～5月上旬、第1世代成虫は6月下旬～7月上旬、第2世代成虫は7月下旬～8月上旬、第3世代成虫は9月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第1世代、第2世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。
- ・防除適期はそれぞれ5月上旬～6月上旬、6月下旬～7月中旬であり、10～14日間隔で防除する。
- ・りんごは、第3世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8月中旬頃から5～7日間隔で防除する。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・4月第5半旬の越冬世代終了後ほぼ誘殺がなかったが、6月後半より第1世代成虫の発生が始まり、第6半旬より誘殺が再び増加し始めた。

○須坂市（病虫害防除部）



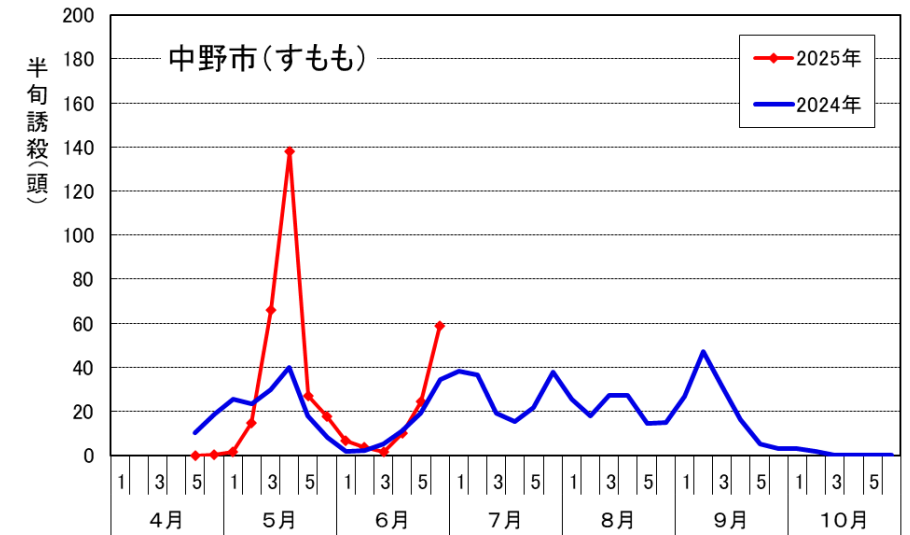
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・五月雨式の発生であったが、5月いっぱい越冬世代の成虫の誘殺がほぼ終了した。
- ・6月4半旬から増加し始め、第5半旬に平年を大きく上回る大量の誘殺がみられ、第6半旬にも継続して同等の誘殺が観察された。

○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024 年からほ場を変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・6月第2半旬には越冬世代の誘殺がほぼ終了していたが、6月第4半旬に入り再び増加に転じた。
- ・第1世代の成虫の誘殺が始まったと推察され、増加が続いている。